

# みみょう幼稚園だより

<http://mimyo.org/youchien/>



新しい集団生活がスタートして2か月が経過しました。幼稚園で過ごすことが、日常となり、自分の居場所として、また、いつもいっしょに過ごす先生やお友だちへの理解や信頼、つながりも深まっています。入園・進級当初の緊張もほぐれ、自分らしさが発揮できるようになってきており、その分、甘えたり試したり、自己主張も出せるようになっていきます。お友だちがこつこつと作り上げた積み木をわざと壊してみたり、登園時、お家の人と離れがなくなっている姿も見られます。お友だちとのトラブルも生じ始めます。私たちはそうした姿を決してマイナスに捉えるのではなく、それぞれの成長に必要な過程と考え、その思いに寄り添いながら、一人ひとりが安心納得して、次の行動に移せるようにお話をしていきます。

0歳から6歳までのそれぞれの育ちについて子どもが100人いれば、100通り以上の気づきや悩み、喜びもあることでしょう。お家の方でも、ご不安やご心配なことがあるようでしたら、

遠慮なく、また少しでも早くご相談いただけたらと思います。園の方からもしっかりと情報を発信して参ります。お子さんが、着実に成長している様子を、しっかりと分かち合い、一緒に喜び合う機会をたくさん持ちたいと考えています。



## ●●● 対話を大切に ●●●

上述したように、子どもたちは人との関わりの中で甘えたり試したりと、その心は常に動き、育ち続けています。お友だちのあそびを妨げたりする行動にも、必ずその子なりの理由があります。小さな人たちにはその理由は自分でもわからないし、説明したりすることもできません。いっしょに遊びたかったり、疲れていたたり、先生の注目を自分の方に向けたいかもしれません。人との関りがあるからこそその行動です。幼稚園では、そうした行動を、大人の判断で決めつけず、気持ちをしっかりと引き出しながら、優しく簡潔な言葉に置き換えてあげる時間を大切に持っていきます。言葉と気持ちのやりとりを決して一方的でなく、「話した」「聞いてもらえた」「わかってもらえた」「理解できた」「もっと話したい」「もっと知りたい」というふうに好循環に発展させて行くことが重要です。好循環の中で育つことにより、積極性や好奇心、自主性も高まっていきます。そうした過程の中で、たくさんの言葉を獲得し、1歳で10語程度であった語彙数も、6歳ではなんと約3000語の言葉が使えるようになっていきます。

乳幼児期は本当に大切な時期なのです。今、0・1歳の保育室でも、先生を介しながら、子ども同士、関わりを深めています。お互いの刺激によって、のびのびと行動し挑戦する姿に喜びと共に責任の重大さを感じないではいられません。また、毎日のようにサークルタイムでアイデアや気持ちの交流をしている年中さんや年長さんの思考・行動する力が、これからどれだけ伸びていくのかもとても楽しみです。言葉を大切に、ご家庭でも対話を楽しんでいただきたいと思います。

ふれあい広場「♪みんなで歌おう」で年長さんが可愛い歌声を披露しました。元気いっぱいの発表に、未就園児親子さんからは、大きな拍手と笑顔をいっぱいいただきました。

年長さんが保育室を「きょうりゅうミュージアム」に改造しています。子どもたちの創造力をかきたてる応援をお願いします。

お家で不要なこんなものがあれば譲っていただけませんか？

- ・大工道具 ・台所用品
- ・園芸用品 ・実験用具
- ・石 ・貝がら ・木片

いつもの身近な素材たち…

他にも、楽しそうだなと思われものなんでも結構です。

ご協力よろしくお願いします